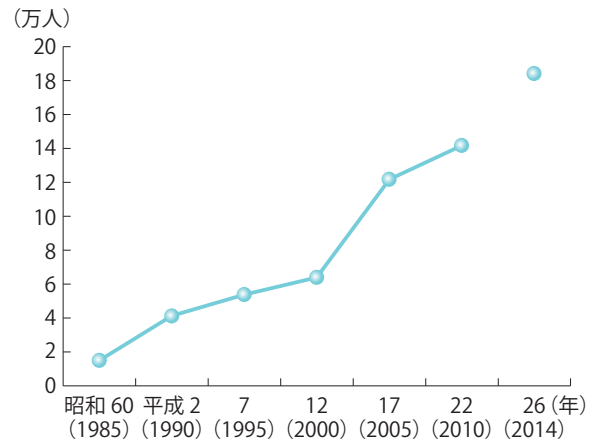


## 2 外国人留学生，外国人児童生徒数

○外国人留学生数は増加傾向。(図表41)

図表41 外国人留学生数



(出典) 独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況」，文部科学省「留学生受入れの概況」

- (注) 1. 「外国人留学生」とは，出入国管理及び難民認定法別表第1に定める留学の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程），我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生をいう。
2. なお，出入国管理及び難民認定法の改正により，平成22年7月より従来の「留学」「就学」ビザが一本化されたことに伴い，平成23年度調査からは，日本語教育機関で学ぶ外国人学生も調査対象としている。

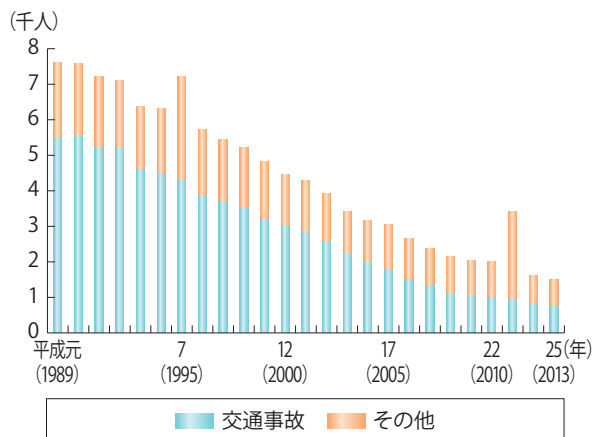
# 第5章 安全と問題行動

## 第1節 事故・災害

### 1 不慮の事故・交通事故

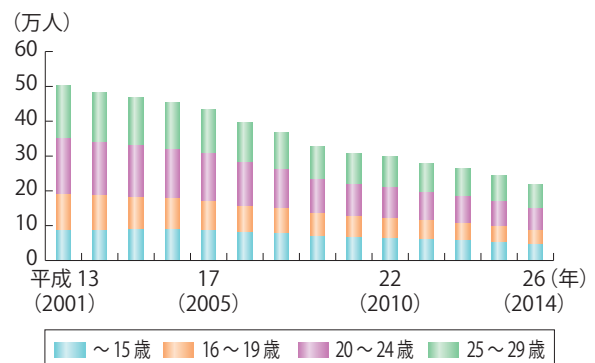
○不慮の事故による死亡数は平成元年をピークに減少傾向。交通事故による死傷者数も減少傾向。(図表42，図表43)

図表42 不慮の事故による死亡数（30歳未満）



(出典) 厚生労働省「人口動態統計」

図表43 交通事故死傷者



(出典) 警察庁「交通事故の発生状況」

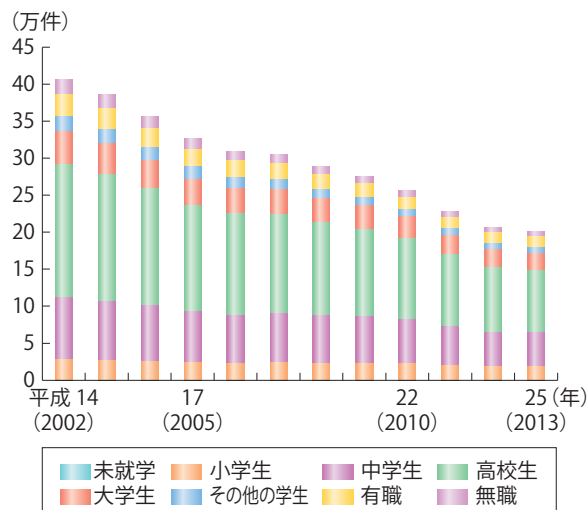
## 第2節 犯罪や虐待による被害

### 1 犯罪被害

(20歳未満の者が被害者となる刑法犯の状況)

○20歳未満の者が被害者となった刑法犯の認知件数は、近年減少している。(図表44)

図表44 20歳未満の者が主たる被害者となる刑法犯の認知件数

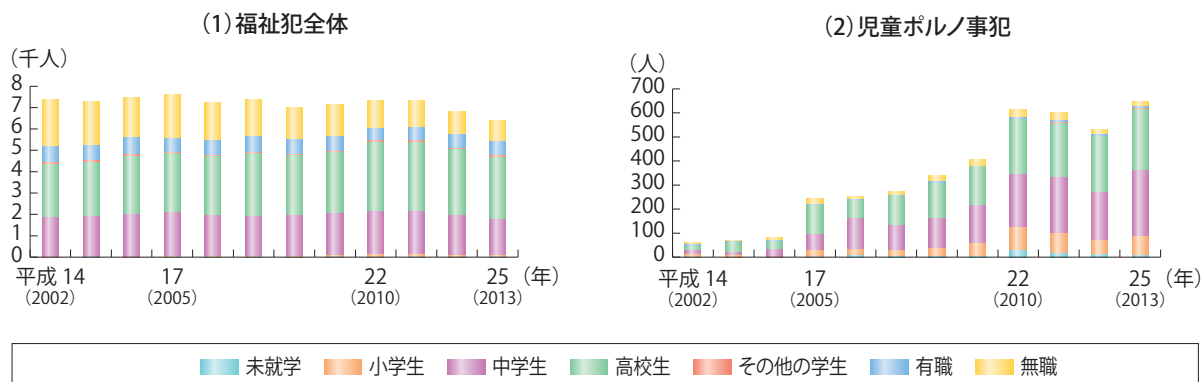


(出典) 警察庁「少年の補導及び保護の概況」[少年非行情勢]  
 (注) グラフのうち、殺人・強盗・強姦等とは凶悪犯を、暴行・傷害等とは粗暴犯を、詐欺・横領等とは知能犯を、強制わいせつ等とは風俗犯を、それぞれ指す。  
 平成26年8月1日現在の統計等をもとに作成している。

(20歳未満の者の福祉を害する犯罪の被害)

○福祉犯の被害者となった20歳未満の者はこのところ減少。ただし、このうち児童ポルノ事犯の被害者となった20歳未満の者は増加している。(図表45)

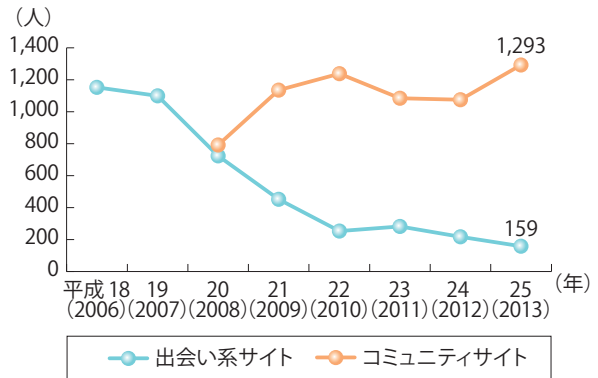
図表45 福祉犯の被害に遭った20歳未満の者



(出典) 警察庁「少年の補導及び保護の概況」[児童虐待及び福祉犯の検挙状況等]  
 (注) 児童ポルノ事犯については、各年に新たに特定された被害児童数を計上。これ以外に、被害児童を特定できない画像について年齢鑑定を実施して立件する場合もある。

○出会い系サイトに起因して犯罪被害に遭った18歳未満の者は大きく減少。一方、SNSやプロフといったコミュニティサイトに起因して犯罪被害に遭った18歳未満の者は増加している。(図表46)

**図表46** 出会い系サイト・コミュニティサイトの利用による被害に遭った18歳未満の者



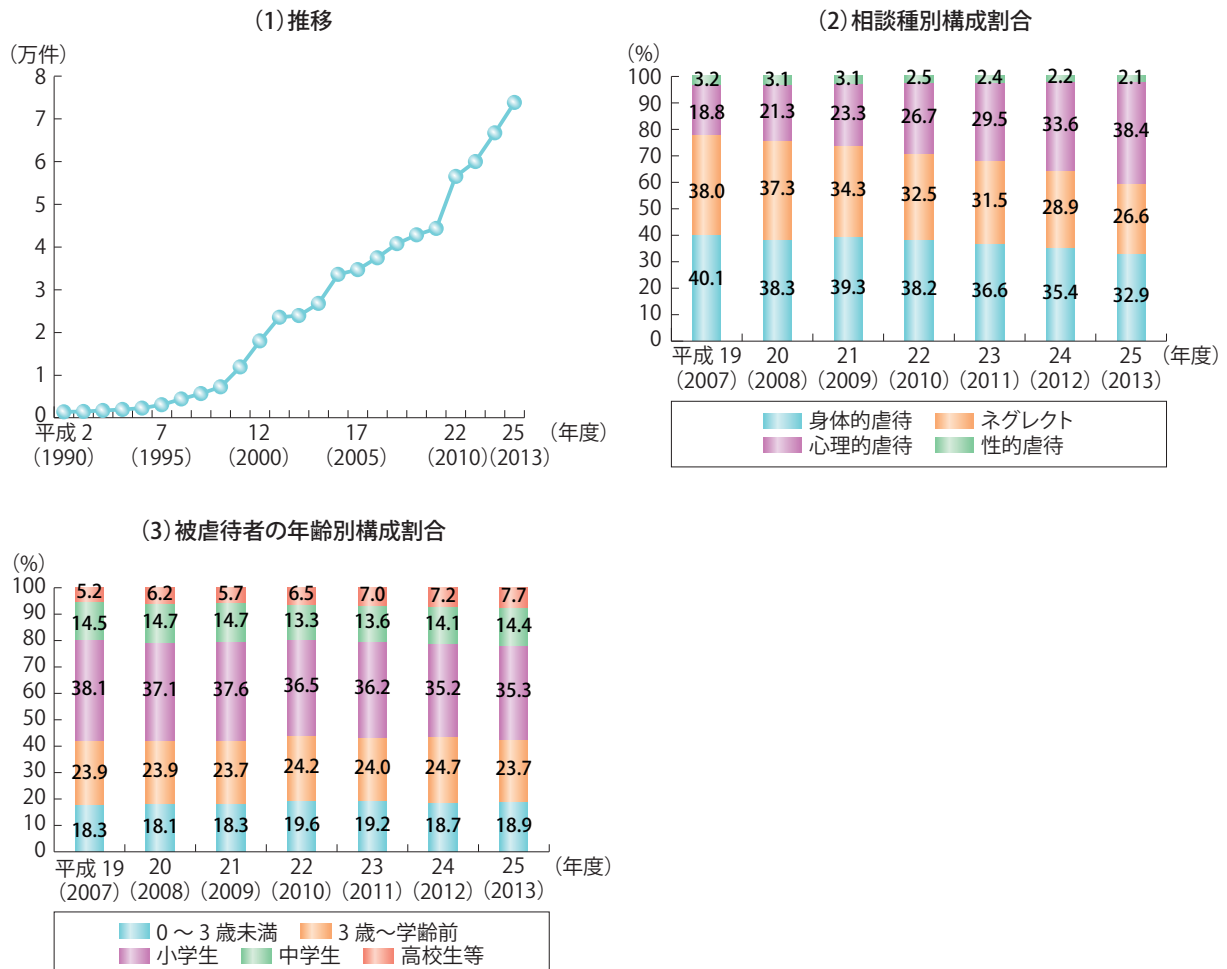
(出典) 警察庁「出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について」

## 2 児童虐待の状況

(児童相談所における相談対応件数)

○児童虐待に関する相談対応件数は年々増加。心理的虐待が最も多く、身体的虐待が続く。被虐待児の4割以上が学齢前。(図表47)

**図表47** 児童相談所における児童虐待に関する相談対応件数

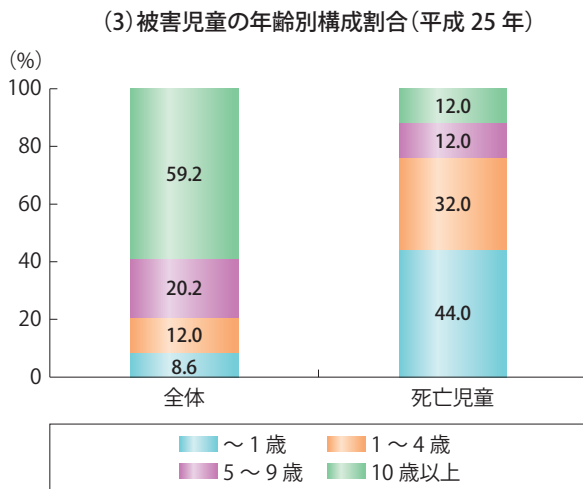
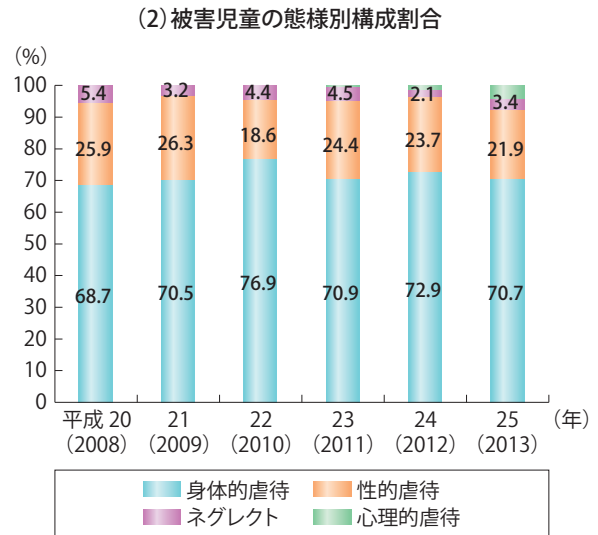
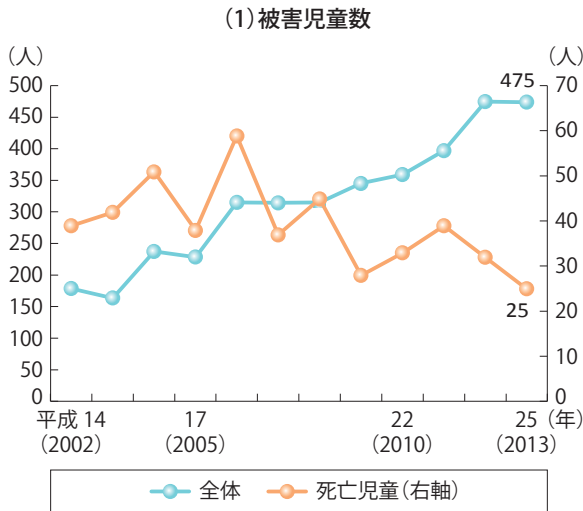


(出典) 厚生労働省「福祉行政報告例」  
 (注) 平成22年度の数値は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計したものの。

(児童虐待事件検挙件数)

○警察が検挙した児童虐待事件も増加傾向。(図表 48)

図表 48 警察が検挙した児童虐待事件



(出典) 警察庁「少年の補導及び保護の概況」[児童虐待及び児童ポルノ事犯の検挙状況等]  
 (注) 上記の数値には、いわゆる無理心中や、出産直後の殺人と遺棄を含まない。